

# 万物がみな師



文学部長

河西 良治  
かさい りょうじ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

受験時代の縛りから解放され伸びやかな気分でも摩キャンパス生活が始められることを願っています。いろいろなことをやりたいと思つていることでしょうか、皆さんが自分の人生で本当にやりたいことは何でしょうか。これに答える努力をするのが大学時代だと思います。それは、自分がいったいどういう人間なのか、どういう心の習癖があり、どういう考え方や感じ方をするのかを、自分に素直に誠実に生きることによって、まず知つてほしいと思つています。

自分を知る努力なくしては、相手を知ることなどできません。国際化が叫ばれて久しいですが、外国のことを知るには、まず自分、そして自分の国を知ることが大前提です。

ものをよく見て深く考える姿勢を貫きながら、自分を発見し、自分のこと、自分の国のことについて自分の意見をしっかりともち、それをしつかりと伝えられる能力を身につけることが必要です。

大学では、学問上のよき師に出会い、そして、古典という歴史の節にかげられてきた人類の英知に学ぶことがなにより大切だと思います。そして、素直な心で学ぶという心がけさえがあれば、すべてのものがみな師になってくれます。この多摩の四季折々の自然も素晴らしい先生となつてくれます。

人間は常に脱皮して、常に新しくなつていく創造的な生き物です。心を柔軟に開いて、自分の短所を隠さずに、誠実に生きる努力を日々新たにすることによって、学問的な知識や技能のみならず人格を磨き続けていってほしいと願っています。

# 想定外危機と向き合える力を



総合政策学部長

河野 光雄  
こうの みつお

入学おめでとう。

皆さんが生きているこの時代は、かつてなら考えられないような不安定さにおののいているように見えます。テロ、金融破綻、パンデミックなど、その突然の出現に誰もが驚かされています。もちろんパンデミックさえも、つぶさにたどれば、確かな必然性によって裏付けられるもので、兆候を見逃さなかった故に爆発に驚いているに過ぎないともいえるでしょう。最近の脅威の特徴は小さな揺らぎが一挙に拡大するところにあります。個々の社会システムがグローバルに結ばれて相互依存性が強くなり、個と全体が互いに互いを支配するような関係が生まれてきているからです。そうした相互浸透のダイナミズムのシナリオは一般に見えませんが、具体的な事例の展開は個と全体を取り巻く環境条件によるため極めて個別であり、それゆえに不確実と考えられたり、不連続変化とひとくくりにとらえられる傾向があります。皆さんにとつての身近で大変重要な話はいえ、景気に敏感に反応する就職問題があります。ある年は売り手市場で100%に近い就職率であったものが、次の年には買い手市場となり就職率が60%近くは落ちてしまふ、ということが頻りに繰り返されるようになってきています。したがっ

て社会の変化に動揺しないよう、日常的に兆候を見逃さない感度の高いセンスと兆候の意味を考えることのできる該博な知的体系を持つことが求められます。また個が生きる社会の広域化が進んだことによつて、個の自由度は大きくなつたように見えますが、ネットワークによつて目に見えない縛りを受けているとも言えるかもしれません。「空気が読めない」という非難が大手を振つてまかり通る状況はネットワークによる縛りへの拝跪以外の何物でもありません。自己主張が受け入れられない「村社会原理」の新しい形での復活と言えましょう。一方でグローバル化が進み、世界は多元価値社会として立ち現れ、自己主張は異文化共生の基礎になつてきています。ここに日本が世界から取り残され孤立の道を歩み始めかねない問題があります。

こうした社会の中で大学への入学を果たした皆さんには、真摯に学びに取り組み、人類の課題に果敢に挑戦する「Change Agent」として育つてもらいたいと思つています。「不確実、不連続な変化」に対応できる力を育てる道は、広くそして深く人類の知的遺産を継承し、その上に新しい認識の体系を築くことで拓かれます。大学は、このダイナミックに変化する時代を力強く生き抜く準備する場です。皆さんが心身ともに健康で学ぶに献身し、帰属する社会への貢献を通じて自身を大きく成長させていくことを願っています。